

## 理事長就任のご挨拶

## 皆様の笑顔と共に設立60周年、70周年を迎えられるよう尽力いたします



理事長 星 淑夫

事業主ならびに被保険者、ご家族の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。計機健康保険組合では、この5月に任期満了に伴う第18期組合会議員改選が行われ、杉前理事長の後を受けて当組合理事長職を拝命いたしましたので一言ご挨拶を申し上げます。

国民の健康・医療を取り巻く環境は激変を続け、高齢社会、医療技術や薬剤開発の進歩などを要因とする医療費の増加はとどまることを知りません。特に高齢社会については、団塊世代が2025（平成37）年に75歳以上の後期高齢者医療制度に移行する、いわゆる「2025年問題」に象徴される次のステージに向けての過渡期を迎えているところでございます。

ご存知のように健康保険組合は、医療費の支払いだけでなく、出産・死亡・病気療養等の各種給付、健診・健康管理事業および体育奨励事業の実施、40歳以上の加入者の介護保険料の徴収など、さまざまな部分で皆様とかわっております。また、高齢者医療にかかる納付金・支援金の国への納付、皆様のマイナンバーをはじめとする個人情報管理なども行っております。こうした多岐にわたる事業運営に理事長として深くかわっていくことの責任の重さに身が引き締まる思いであります。

高齢者医療にかかる納付金等の負担の増加により、健保財政は厳しさを増しております。今後は皆様の健康の保持・増進、疾病の重症化予防による医療費の節減が、健全財政に向けての大切なカギとなります。当組合が実施する各種健診事業は、被保険者・被扶養者の皆様のニーズに対応して、年々充実を図っております。これらの事業を積極的に利用され、健保財政の安定化にご協力いただければと存じます。当組合は本年5月をもちまして設立50周年を迎えました。今後、60周年、70周年を皆様の笑顔と共に迎えられるよう、第18期組合会議員一同、ならびに事務局役職員一同、組合体制の強化に尽力いたします。当組合の事業運営に対して、皆様のこれまで以上のご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。